

西中図書だより

10月5日、長崎市生まれで英国国籍の作家、カズオ・イシグロさんのノーベル文学賞の受賞が決まりました。代表作は「わたしを話さないで」「日の名残り」「遠い山なみの光」です。

読書の秋です。読むのが苦手と思う人は 短編から読んでいきましょう。

いろんなジャンルの本に挑戦してくださいね。

9月の貸出し冊数 1年 898冊・2年 482冊・3年 202冊 (学級文庫、教科貸し含む)



新着本

「オリエント急行の殺人」	アガサ・クリスティー	早川書房
「メ切本」	左右社編集部	左右社
「村上春樹とイラストレーター」	ちひろ美術館	ナナロク社
「宮沢賢治童話全集1～12」	宮沢賢治	岩崎書店
「ある奴隷少女に起こった出来事」	ハリエット・アン・ジェイコブス	新潮社
「小説ちはやぶる中学生編1～4」	時海結以	講談社
「語られなかったアメリカ史・オリバー・ストーン」の告発」	オリバー・ストーン	あすなろ書房
「こどものためのマクベス」	ウィリアム・シェイクスピア	アートデイズ

おすすめ本



「身近に潜む危険な化学反応」 齋藤勝祐 シーアンドアール研究所

化学反応というと一般の生活には関係ないと思いがちですが、私たちの身近な所には、医薬品、洗剤、脱臭剤、防虫剤、除草剤など多くの化学物質があり、これらの化学物質を正しく使いこなさないと大事故につながります。家庭での事故を防ぐために必要な化学の知識をイラスト入りでわかりやすく解説しています。



「日本人なら知っておきたい！モノのはじまりえほん」 荒俣宏監修 日本図書センター

紀元前のむかしから、つい最近生まれたものまで「モノのはじまり」をときあかします。コンビニは最初、氷屋だった？アイスクリームを作る機械は、普通の主婦が発明した？など



「親友のつくり方、教えましょう」 オスカー・ワイルド/セルマ・ラーゲルレーヴほか くもん出版

外国文学の名作を日本の著名な作家・翻訳家の名訳で楽しめます。この本のテーマは「友情」です。短編作品でとても読みやすいです。朝読書の本としてお勧めです。



「考える力がつく本」 池上彰 プレジデント社

「考える力がない人」が増えていると言われています。どうしたら考える力を養えるのか。この本では、池上彰さんの経験をもとに考える力を身につけるための実践的な方法を紹介しています。